

# 健康通信

## 虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）について



心臓血管外科 部長医師

### 寺本 慎男

まだ残暑が厳しいころですが、これから秋・冬にかけて急な発作などで心配になる虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）についてお話しします。

#### 虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）

心臓は身体中に血液を送り出すポンプの役割をする臓器です。心臓がポンプとして働くために心臓を栄養する血管（冠動脈）があります。虚血性心疾患には狭心症や心筋梗塞などがあり、冠動脈が狭くなったり、詰まったりして血液供給の低下から胸部症状を来す病気で

#### 狭心症の治療について

狭心症と診断されたら、まずは禁

煙、体重管理などの生活習慣の是正に加え、最適な薬物療法が必要となります。そのうえで、冠動脈病変によっては血行再建術が検討されます。

狭くなり虚血をきたした冠動脈に

新たな血管をバイパスして血流を増やす手術として、1967年に冠動脈バイパス術（CABG）が報告されてからすでに半世紀以上が経ちました。また、1977年には経皮的冠動脈形成術が行われ、後に現在は循環器内科にて施行されている経皮的冠動脈インターベンション（PCI）につながっていきま

#### 冠動脈バイパス術（CABG）について

人工心肺使用下冠動脈バイパス術（ONCAB）に対して、1990年代後半からは人工心肺を用いずに手術を行う、心拍動下冠動脈バイパス術・オフ

ポンプ冠動脈バイパス術（OPCAB）

というものが日本でも積極的に行われるようになりました。特に2004年以降はCABG全体の60%程度を占めるまでになっています。これも優劣をつけるものではなく、患者個人の全身状態によって選択されるものです。日本ではOPCABを推す心臓外科医が多くみられることは事実ですが、これまでの多様なランダム比較試験においてOPCABがONCABより優れているという明らかな報告はなされていません。欧米では未だONCABが主流であるのもその理由の一つになると思

択肢を有していることが我々外科医としても必須です。最近では種々のデバイスも開発され、より安全に手術ができるよう工夫されています。

#### 当院での治療について

PCIの方が優れている状況やCABGが勧められる状態は、患者さんによって異なります。当院ではハートチームによるカンファレンスを週1回行っていますので、より柔軟な対応が可能です。手術治療を勧められた場合は、外来予約の上で手術についてのお話をいたします。手術に対する不安もあると思いますが、患者さんそれぞれに適した治療法の提案が可能です。

治療を放棄している間に救急車で運ばれると、予想以上に大きなリスクでの治療介入となります。検査結果に対して受け入れ困難なこともあります。[まだ間に合うな、何とかかなるかな]と、思っ